

## 研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

一酸化窒素を併用した人工呼吸器管理中に理学療法にて離床を行った心臓血管外科手術後の症例。

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2016年4月1日～2017年3月31日に当院で人工呼吸器管理中に一酸化窒素吸入療法を併用し、離床を行った方。

### 2. 研究目的・方法

一酸化窒素吸入療法は選択的に肺動脈を拡張させる物質です。人工呼吸器管理中に一酸化窒素吸入療法を行うことで酸素化が改善されると報告されています。しかし、心臓リハビリテーションガイドラインには離床を行う基準として一酸化窒素吸入療法の有無については触れていません。そのため、上記のような条件下で離床を行った際に変化が生じるか、生じないかを検討します。

#### 研究期間

2017年7月26日～2020年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景（年齢、性別、術式）、離床時の人工呼吸器設定、一酸化窒素吸入量、離床前後の動脈圧、SpO<sub>2</sub>、脈拍、体重（対術前）、栄養状況、血液データ（白血球、クレアチニン、尿素窒素、アルブミン、Base Excess）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院リハビリテーション室 氏名：田中 佑果（研究責任者）

住所：135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38 電話番号：03-6204-6000